

今日は雨上がりの澄んだ青空が広がり、まるで空気が一度洗われたような快晴となりました。しかしその一方で、スギ花粉の飛散量は最大級に達した一日でもありました。花粉症の方にとっては、くしゃみや目のかゆみなどの体調の変化で、すぐにそれと気づく日だったのではないのでしょうか。スギ花粉の実体は、直径およそ 0.05 ミリメートルほどの非常に小さな粒子です。もちろん一粒一粒を肉眼で見ることはできません。空気中を大量に漂っていても、普段はその存在を直接目にするにはほとんどありません。

ところが、花粉の量が非常に多くなると、思いがけない方法でその存在を観察することができます。その観測装置ともいえるのが「太陽」です。太陽を建物などで少し遮りながら見上げると、周囲に淡い色の輪が広がって見えることがあります。これは空中に浮遊する微小な粒子によって光が回折し、色のついた光の環をつくるためです。スギ花粉は粒の大きさが比較的そろっており、しかも春先には非常に大量に空気中を漂います。そのため条件がそろると、太陽の周囲に美しい光の環が現れます。これが「花粉光環」と呼ばれる現象です。

今日はまさにその条件が整い、肉眼でもはっきりわかる花粉光環が出現しました。青空の中に淡く色づいた光の輪が浮かぶ様子は、とても幻想的で美しいものです。しかしその正体は、私たちの体調を悩ませる花粉そのもの。まさに「美しき嫌われ者」と呼ぶのにふさわしい、春の空の光景でした。

